

第3章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

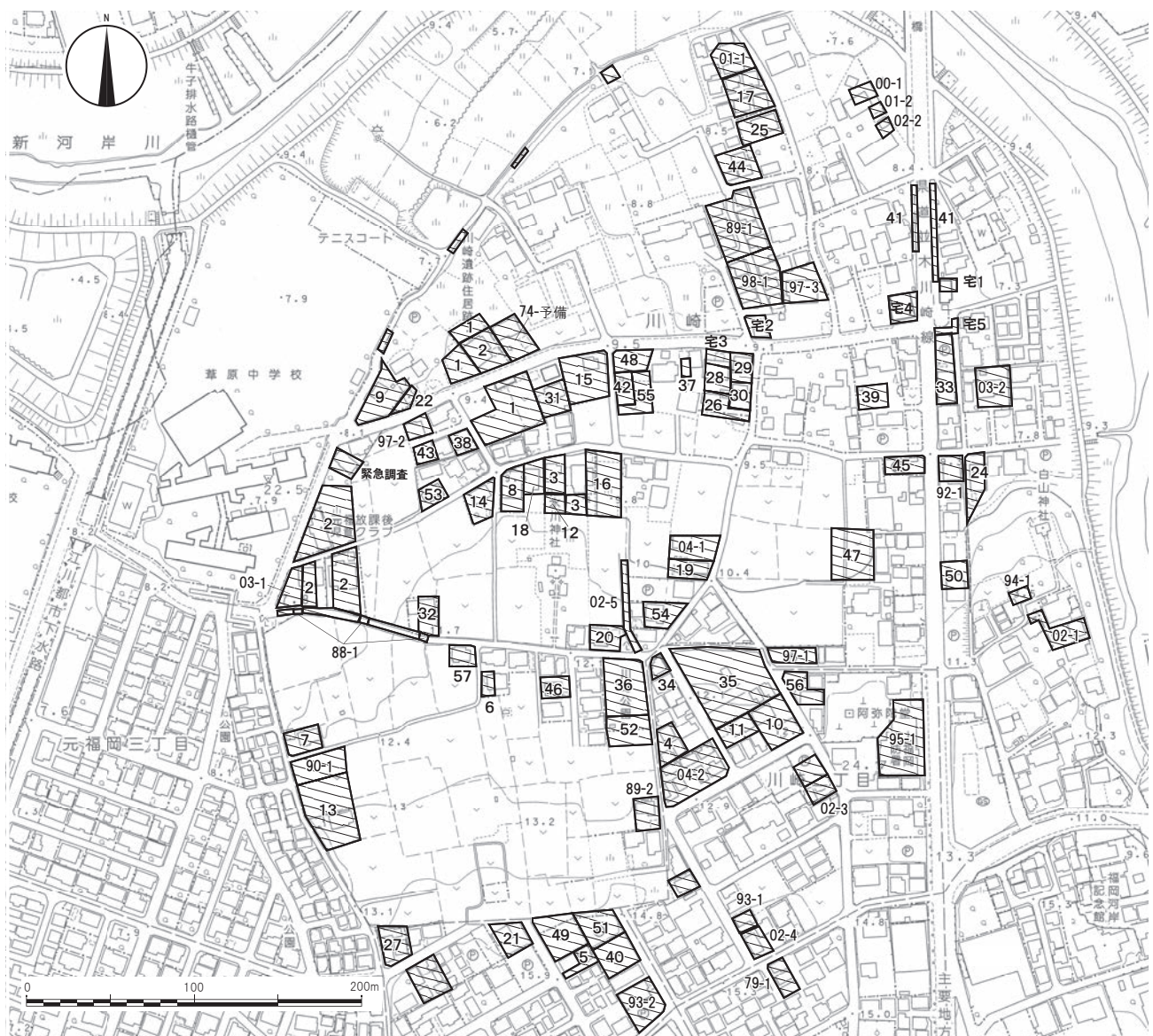
川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500 m、台地の基部から先端へ1 km にわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18 m、最北部では8 mを測る。遺跡の範囲は南北600 m、東西500 m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正6)年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928(昭和3)年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2021年4月現在90ヶ所で調査を行っている。

主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。また、旧石器時代の遺物も出土している。



第6図 川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第8表 川崎遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
74- 予備	川崎 160	(1974.3.25 ~ 4.4)	84		事前調査	炉穴、土坑、ビット、縄文土器等		上遺調
1 次	川崎 162 ~ 176	1974.7.20 ~ 9.19	1,800		事前調査	縄文時代住居跡 3、古墳時代住居跡 1、古代住居跡 7、焼土、集石、土坑、堀跡、溝、井戸、地下式坑、縄文土器、土師器等		川崎 1 次
緊急調査	大字川崎字宮後 168-3	1975.3.30 ~ 5.10	198		個人住宅	溝、縄文土器等		上遺調
宅 1	大字川崎字宅地添 221	1975.6.8 ~ 29	50		個人住宅	縄文時代住居跡 1、貝塚、縄文土器等	宅地添 1 次 A 地区	上遺調
2 次	川崎 137 ~ 174	1975.9.4 ~ 12.5	3,055		事前調査	縄文時代住居跡 10、古墳時代住居跡 6、古代住居跡 10、炉穴、土坑、ビット、堀跡、溝、井戸、縄文土器、土師器等		川崎 2 次
3 次	川崎 149-6	1977.11.1 ~ 12.3	300		宅地造成	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 6、柱穴、溝、縄文土器、土師器等		川崎 3 次
宅 2	川崎 198	1978.5.15 ~ 25	170		宅地造成	土坑、ビット、遺物なし	宅地添 2 次 B 地区	上埋 I
宅 3	川崎 230	1978.5.23 ~ 31	130		宅地造成	井戸、溝、地下式坑、遺物なし	宅地添 3 次 C 地区	上埋 I
4 次	川崎 2-5-2	1979.4.19 ~ 5.11	304		宅地造成	縄文時代住居跡 1、ビット、溝、縄文土器等		上埋 II・IV
5 次	川崎 1-1-4	1979.9.26 ~ 10.10	152		宅地造成	溝状遺構、遺物なし		上埋 II
79-1	清見 4-3-11	(1979.11.12 ~ 19)	260		宅地造成	溝、縄文土器		上埋 II
6 次	川崎 102-5	1979.12.3 ~ 8	30		プレハブ家屋	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 2、縄文土器、須恵器等		上埋 II
7 次	川崎宮前	1981.11.27 ~ 30	316		個人住宅	遺構なし、平安土器		上埋 IV
8 次	大字川崎字宮脇 148-1	1984.1.17 ~ 26	400		住宅建設	溝、縄文土器		上埋 VI
宅 4	川崎宅地添 219-2・3	1984.9.25 ~ 10.9	301		住宅建設	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、縄文土器、須恵器等		上埋 VII
9 次	川崎字宮後口 172-1・2	1986.9.11 ~ 20	495		個人住宅	溝、縄文土器等		上埋 IX
10 次	川崎 224-1	1987.11.24 ~ 30	603		個人住宅	溝、石斧		上埋 X
11 次	川崎 2-6-2	1988.5.10 ~ 17	289		住宅建設	遺構遺物なし		上埋 11
88-1	市道 402 号線	(1988.9.19 ~ 21)	60		下水道設置	遺構遺物なし		上埋 11
89-1	川崎字宅地添 196-1	(1989.4.10 ~ 18)	1,045		住宅建設	遺構遺物なし		上埋 12
89-2	川崎字宮前 98-2	(1989.10.3 ~ 6)	264		住宅建設	遺構遺物なし		上埋 12
12 次	川崎字宮脇 149-4・5	1990.4.20 ~ 27	311		住宅建設	溝、遺物なし		上埋 13
13 次	川崎字宮前 122	1990.5.1 ~ 17	480		住宅建設	古代住居跡 1、土師器		上埋 13
90-1	川崎字宮前 122	(1990.5.18 ~ 23)	530		範囲確認	遺構遺物なし		上埋 13
14 次	川崎字宮脇 145-2	1990.10.1 ~ 31	499		個人住宅	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、貝塚、須恵器等		上埋 13
15 次	川崎字宮後口 160-1	1991.10.23 ~ 11.20	499		個人住宅	古代住居跡 7、土坑、緑釉陶器、墨書土器、石製紡錘車等		上埋 14
92-1	川崎字山向 9-5	(1993.2.18・19)	168		店舗併用住宅	遺構遺物なし		上埋 15
93-1	川崎 2-2-10・11	(1993.8.24)	131		個人住宅	遺構遺物なし		上埋 16
93-2	川崎 1-1-1 の一部	(1993.9.10 ~ 13)	422		共同住宅	遺構遺物なし		上埋 16
94-1	川崎字台 258 外 1 筆	(1994.11.17 ~ 24)	230		機材置場	遺構遺物なし		上埋 17
95-1	川崎 2-7-2・3	(1995.10.13 ~ 16)	1,126		消防署	遺構遺物なし		上埋 18
16 次	川崎字宮脇 150-2・3	(1995.12.4 ~ 8) 1995.12.11 ~ 1996.3.8	828		駐車場 資材置場	縄文時代住居跡 3、古代住居跡 4、古代掘立柱建物跡 6、竪穴状遺構、土坑、溝、井戸、縄文土器		H7 上社、上埋 18、市内 26
17 次	川崎字宅地添 204 の一部	(1996.7.8 ~ 12) 1996.7.15 ~ 23	779	(779) 130	宅地造成 個人住宅	古代住居跡 1、墨書土器、須恵器等		上埋 19
18 次	川崎字宮脇 148-3	(1996.11.11・12) 1996.11.18 ~ 25	198		個人住宅	古代住居跡 3、土師器等		上埋 19
97-1	川崎字山向 21	(1997.4.14)	367		宅地造成	溝、遺物なし		上埋 20
97-2	川崎字宮後口 165-6	(1997.10.20)	204		個人住宅	遺構なし、縄文土器片		上埋 20
97-3	川崎字宅地添 199-1・2・5	(1998.2.12 ~ 16)	780		個人住宅	遺構遺物なし		H9 上社
98-1	川崎字宅地添 197-1	(1998.10.27 ~ 11.6)	996		宅地造成	土坑、縄文土器等		上埋 21
市道 402 号線 2 次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21 ~ 25	496		道路敷設	縄文時代住居跡 1		H11 上社
00-1	川崎字宅地添 209 の一部	(2000.6.19 ~ 22)	123.3		個人住宅	遺構なし、貝殻、縄文土器等		上埋 23
01-2	川崎字宅地添 209 の一部	(2001.6.12 ~ 25)	100		車庫	溝、土坑、縄文土器等		上埋 24
19 次	川崎字宮脇 157 の一部	2001.9.18 ~ 10.4	289		個人住宅	古代住居跡 1、土坑、土師器等		上埋 24
01-1	川崎字宅地添 204-1	(2001.10.29・30)	825		宅地造成	遺構なし、縄文土器片、貝殻等		上埋 24
02-1	川崎 249-1 の一部	(2002.5.13)	341		倉庫	遺構なし、縄文土器等		上埋 25
02-2	川崎 210-1・2 の一部	(2002.10.28・29)	551		共同住宅	溝		H14 上社
02-3	川崎 2-4-16	(2002.12.24)	228		個人住宅	遺構遺物なし		H14 上社
02-4	川崎 2-2-12	(2003.3.13)	165		個人住宅	遺構遺物なし		H14 上社
03-1	川崎 137-1 の一部	(2003.8.6・7)	257		個人住宅	遺構なし、縄文土器片		上埋 26
02-5	川崎字宮脇 155 先	(2003.3.26)	164		市道 401 号線	遺構遺物なし		H14 上社

地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
03-2 宅5	川崎字宅地添 226-16 川崎字宅地添 222-3 先	(2003.12.8・19) 2004.2.16～18	381 88		個人住宅 市道 381 号線	遺構遺物なし 古墳時代住居跡 1、壺型土器		上埋 26 H15 上社
04-1	川崎字宮脇 157-1 の 一部	(2004.6.14・15)	421		個人住宅	竈、土師器 等		上埋 27
04-2	川崎 2-5-1	(2004.11.1～4)	881		宅地造成	遺構遺物なし		上埋 27
20 次	川崎字宮脇 153-5	(2005.11.22～27) 2005.11.28～12.2	257		個人住宅	古墳時代住居跡 1、土師器		市内 1
21	川崎 1-6-10 の一部	(2006.4.11) 2006.4.14～20	298	(124)	個人住宅	古代住居跡 1、溝、縄文土器 等		市内 3
22	川崎 171-1、174-10	(2007.4.16～23) 2007.4.24～5.22	104	(104) 104	消防分団車庫	炉穴、土坑、溝、地下式坑、穴蔵、 墨書土器、瓦塔、花瓶 等		市内 4
24	川崎字宅地添 225-3	(2007.10.4)	319	(26)	共同住宅	溝、土師器片		市内 4
25	川崎字宅地添 203-1 の一部、203-3 の一部	(2008.4.14) 2008.4.15～17	1,033	(55)	個人住宅	古代掘立柱建物跡 1、土坑、ビット、 溝、地下室、灰釉陶器、縄文土器 等		市内 6
26	川崎字宅地添 230-5	(2008.4.21) 2008.4.22～5.17	228		個人住宅	古代住居跡 4、土坑、ビット、井戸、 墨書土器 等		市内 6
27	川崎 1-7-1	(2008.5.15～21)	350	(112)	分譲住宅	土坑、溝、縄文土器 等		市内 6
28	川崎字宅地添 230-7	(2008.7.4～9) 2008.7.10～8.8	434	(160)	個人住宅	古代住居跡 3、土坑、溝、土師器 等		市内 6
29	川崎字宅地添 230-1	(2008.7.9～11) 2008.7.14～8.22	203	(108)	個人住宅	古代住居跡 2、土坑、ビット、溝、 墨書土器、土師器 等		市内 6
30	川崎字宅地添 230-6	(2008.7.17) 2008.7.18～9.5	200		個人住宅	古代住居跡 4、土坑、ビット、溝、 井戸、灰釉陶器、墨書土器 等		市内 6
31	川崎字宮後 161-1・ 5・6	(2009.10.28) 2009.10.28～11.27	304	(103)	個人住宅	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 2、 ビット、縄文土器、須恵器 等		市内 8
32	川崎字宮脇 140 の 一部	(2011.2.24～3.2) 2011.3.4～25	396	(166.5)	個人住宅	古代住居跡 3、土坑、ビット、須 恵器 等		市内 10
33	川崎字宅地添 226-5	(2011.4.14～21)	438	(135)	共同住宅	遺構遺物なし		市内 14
34	川崎 2-5-4	(2011.7.25～26)	117.8	(23)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 14
35	川崎 2-6-4～7・9	(2011.9.27～11.24)	1,924	(668)	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、 土坑、ビット、溝、縄文土器、須 恵器 等		市内 14
36	川崎字宮前 100-1	(2011.12.15～26) 2012.1.10～17	1,096	(439) 22	公園整備	古代住居跡 6、土坑、ビット、墨 書土器、須恵器 等		市内 14
37	川崎字宅地添 232-1	(2012.9.3)	1,298	(15)	個人住宅	遺構なし、須恵器		市内 15
38	川崎字宮後 165-3	(2013.2.25) 2013.2.26・27	176	(25) 5	個人住宅	焼土、ビット、縄文土器 等		市内 15
39	川崎字宅地添 227-1	(2013.3.4・5)	1,121.33	(34)	個人住宅	遺構なし、縄文土器 等		市内 15
40	川崎 1-1-7	(2013.10.11～17)	447	(172.5)	共同住宅	遺構なし、陶器		市内 18
41	川崎 218-1 他	2014.8.1～10.31	419		道路	縄文時代住居跡 3、古代住居跡 3、 炉穴、土坑、ビット、溝、畝跡、 縄文土器、須恵器 等		県埋文 420
42	川崎字宅地添 233-3	(2015.6.26・7.2)	200	(39)	集会所	古代住居跡 1、土師器 等		市内 22
43	川崎字宮後 165-5・ 8・9	(2015.6.26)	175.21	(20)	個人住宅	焼土、縄文土器		市内 22
44	川崎字宅地添 202- 1・8	(2015.11.24～12.10) 2016.1.5～20	273.56	(124)	分譲住宅	縄文時代住居跡 2、古代住居跡 1、 貝塚、土坑、ビット、溝、地下式坑、 縄文土器、須恵器 等		市内 19
45	川崎字山向 8-4、 7-7・8	(2017.2.22～24)	254.72	(55.65)	個人住宅	溝、縄文土器 等		市内 24
46	川崎字宮前 101-5、 103-8	(2017.3.13)	199	(4)	個人住宅	掘り込み遺構、須恵器		市内 24
47	川崎字山向 15-1、 16-1	(2017.12.19)	749	(5)	資材置場	遺構遺物なし		市内 24
48	川崎字宅地添 234-1	(2018.8.27～30)	266	(41)	個人住宅	縄文時代住居跡 1、ビット、溝状 遺構、縄文土器 等		市内 25
49	川崎 1-1-5	(2019.2.7・8)	509	(106.41)	分譲住宅	根切り溝、縄文土器 等		市内 25
50	川崎字山向 10-4 の 一部	(2014.9.8)	120	(20)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 20
51	川崎 1-1-6	(2019.5.8・9)	394	(97.14)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内 25
52	川崎字宮前 99-1	(2019.5.22～24) 2019.5.28～6.19	635	(172.4) 82.5	個人住宅	縄文時代住居跡 1、古代住居跡 1、 瓦片		市内 25
53	川崎字宮後 166-1・ 9～11	(2019.11.5・6)	212	(47.5)	分譲住宅	堀跡、縄文土器 等		市内 25
54	川崎字宮脇 155-6	(2020.2.20・21)	313.62	(23.25)	個人住宅	遺構なし、泥面子		市内 25
55	川崎字宅地添 232- 4、233-1 の各一部	(2020.3.16・17)	235	(22.35)	個人住宅	溝、須恵器片		市内 25
56	川崎 2-7-11・16	(2020.9.8・9)	316	(74.45)	分譲住宅	溝、遺物なし		市内 26
57	川崎字宮前 127-2	(2021.2.4) 2021.2.5～12	168	(44.7) 44.9	個人住宅	縄文時代住居跡 2、集石土坑、縄 文土器 等		市内 26



第9表 川崎遺跡縄文時代住居跡一覧表(単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規 模	炉			埋 甕	拡 張	周 溝	主軸方位	時 期	備 考	所収報告書
						地 床	炉 体	石 囲							
1	1974	第1次 LN03	2/3	方形	430 × 380	○						N-16-E	諸磯 a		川崎1次、市史資Ⅰ
2	1974	第1次 LN19	2/3	長方形	— × 550	○				④	○	N-42-E	黒浜		川崎1次、市史資Ⅰ
3	1974	第1次 LN20	2/3	長方形	560 × 420	○					○	N-59-E	黒浜		川崎1次、市史資Ⅰ
4	1975	第2次 LN70	1/2	隅丸長方形	— × 330								黒浜		川崎2次、市史資Ⅰ
5	1975	第2次 LN73		隅丸長方形	350 × 260	○						N-6-W	花積下層?		川崎2次、市史資Ⅰ
6	1975	第2次 LN74		隅丸方形	820 × 810	○						N-80-W	前期	LN73・74・76・ 77の順で構築	川崎2次、市史資Ⅰ
7	1975	第2次 LN76		不整形	390 × 290	○						N-10-E	前期		川崎2次、市史資Ⅰ
8	1975	第2次 LN77		隅丸長方形		○							前期		川崎2次、市史資Ⅰ
9	1975	第2次 LN08	1/2	隅丸長方形	— × 570	○						N-88-E	関山		川崎2次、市史資Ⅰ
10	1975	第2次 LN34		不整形	520 × 480							N-15-W	黒浜?	H19住・LN35と 重複	川崎2次、市史資Ⅰ
11	1975	第2次 LN35				未検出							前期	10J住・H19住と 重複	川崎2次、市史資Ⅰ
12	1975	第2次 LN25	大部分	長方形	— × 450	未検出						N-68-W	関山	H24住と重複	川崎2次、市史資Ⅰ
13	1975	第2次 LN50	1/2 以上	長方形	620 × 460	○						N-35-W	関山		川崎2次、市史資Ⅰ
14	1975	宅地添1次	完掘	不整形台形	390 × 410	○						N-22-W	早期未葉～ 前期初頭	貝層伴う	上遺調
15	1977	第3次 J7		不明									花積下層		川崎3次、市史資Ⅰ
16	1977	第3次 J8		不整形									花積下層		川崎3次、市史資Ⅰ
17	1979	第4次 1号住居	完掘	隅丸長方形	645 × 505	○						N-36-E	黒浜		上埋Ⅱ・Ⅳ、市史資Ⅰ
18	1979	第6次 1A									○		黒浜	1B・1Cと重複	上埋Ⅱ、市史資Ⅰ
19	1979	第6次 1C											黒浜	1A・1Cと重複	上埋Ⅱ、市史資Ⅰ
20	1984	宅地添第4次 2号住居	完掘	柄鏡形	円径 3～4m	○			①		○		加曽利		上埋Ⅶ
31	1990	第14次 1号住居	完掘									N-52-E	関山Ⅰ	貝層を伴う	上埋13、市史資Ⅰ
32	1995	第16次 3号住居											黒浜	炉跡のみ	H7 上社、市内 26
33	1995	第16次 4号住居											黒浜	炉跡のみ	
34	1995	第16次 7号住居	完掘	長方形	1200 × 800							N-45-E	黒浜	大型住居	
35	2000	市道 402 号線 2次											関山		H11 上社
21	2009	第31地点 J21号住居	75%	柄鏡形	(500) × 420				②				称名寺Ⅰ		市内 8
22	2009	第31地点 J22号住居	25%					○			○		加曽利 EⅣ		市内 8
23	2011	第35地点 J23号住居	一部	台形か 長方形	520 × —								黒浜	未検出	市内 14
24	2015	第44地点 J24号住居	一部	円形か方形		○					○		黒浜	H80住と重複	市内 19
25	2015	第44地点 J25号住居	一部	円形か 隅丸方形							○		黒浜	地下式坑と重複	市内 19
26	2018	第48地点	一部	円形か 隅丸方形									前期?		市内 25
27	2019	第52地点	75%	隅丸長方形	940 × (600)	○						N-72-E	黒浜		未報告
28	2014	第41地点 2号住居		楕円形	(430 × 110)							N-0	黒浜		県埋文 420
29	2014	第41地点 4号住居		隅丸方形	(490 × 200)							N-7-E	関山	3号住と重複	県埋文 420
30	2014	第41地点 5号住居		方形	(370 × 350)							N-7-E	茅山上層	土坑・炉穴と重複	県埋文 420
36	2020	第57地点 J36号住居	一部	隅丸方形	(820 × 200)	○							黒浜		市内 26
37	2020	第57地点 J37号住居	一部		(214 × 62)								黒浜		市内 26

III 川崎遺跡第57地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2020年12月6日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2021年2月4日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40cmである。

調査の結果、縄文時代住居跡2軒と集石土坑1基を確認した。遺構への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、本調査を実施した。

本調査は2021年2月5～12日まで、遺構が確認された部分について重機で表土除去後、人力による調査を行った。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① J36号住居跡

【位置・検出状況】調査区北側のトレンチ1で検出した。

【形状・規模】全容は不明だが、隅丸方形を呈するものと考えられる。規模は東西(820)cm×南北(200)cmを測る比較的大型の住居である。

【構造】中央部北寄りに炉と考えられる焼土跡を検出した。東西110cm×南北(72)cmを測り、北側調査区外へ延伸する。住居内で検出したピットについての詳細は第11表に掲載した。規模からピット2及びピット5は支柱穴と考えられる。

【遺物出土状況】遺物は、縄文土器片が僅かに覆土中より出土したのみである。遺物の詳細については第13図1～11及び第14表に掲載した。黒浜式の土器片を多く含む。

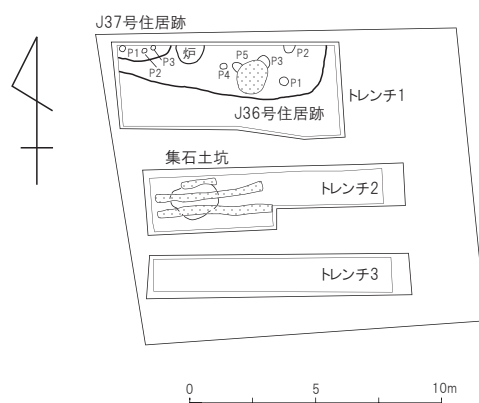
② J37号住居跡

【位置・検出状況】調査区北西隅で検出した。J36号住居跡の床面を掘り込んでつくられており、J36号住居跡より新しい時期のものである。

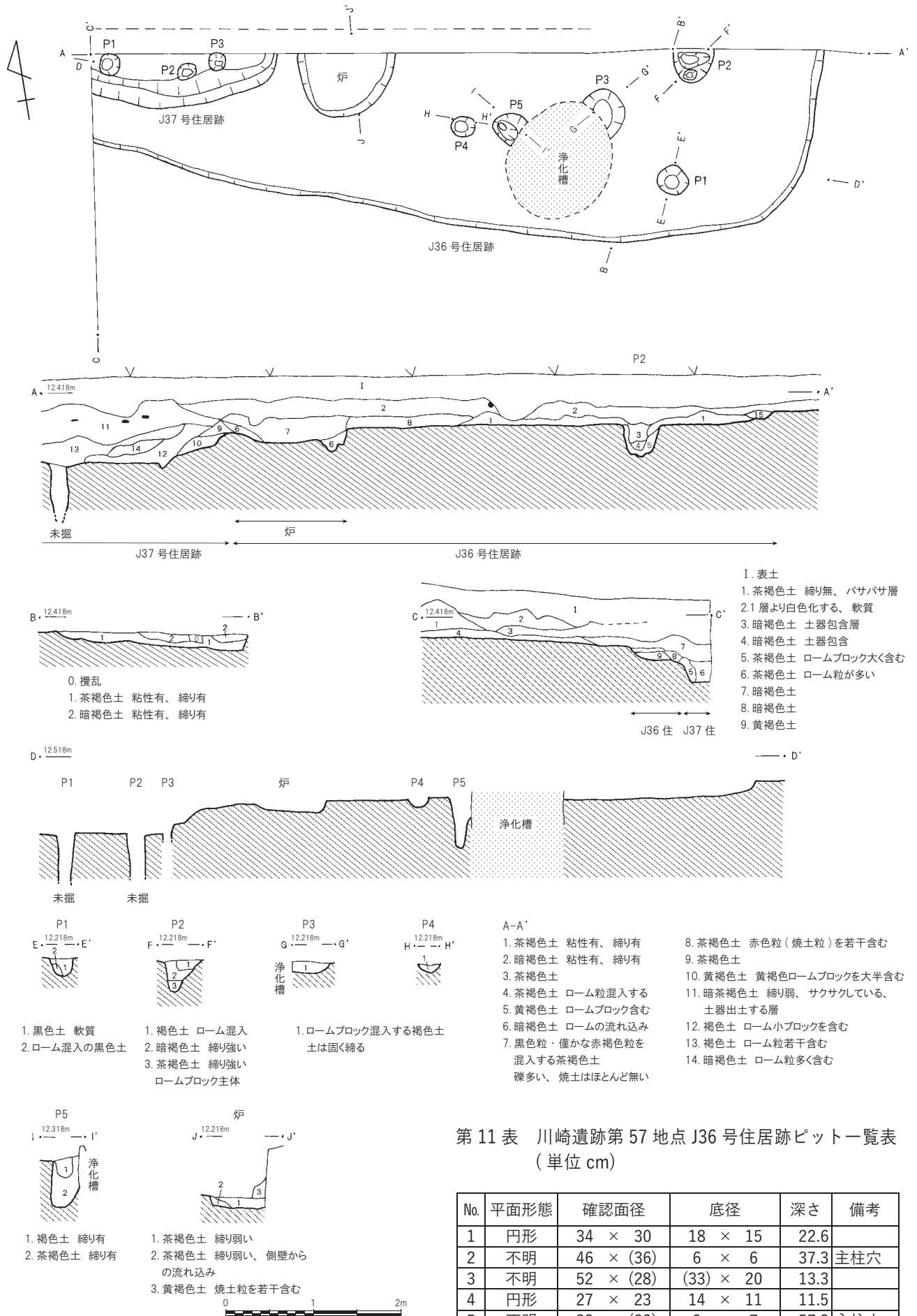
【形状・規模】住居の南東隅のみの検出であるため、全容は不明である。今回の調査で確認された規模は、東西(214)cm×南北(62)cmである。

【構造】住居内でピット3基を検出した。詳細については第12表に掲載した。3基はいずれも壁柱穴の可能性はある。

【遺物出土状況】出土遺物については第13図12～22及び第14表に掲載した。J36号住居跡同様、黒浜式の破片を覆土中に含む。



第10図 川崎遺跡第57地点遺構配置図(1/300)



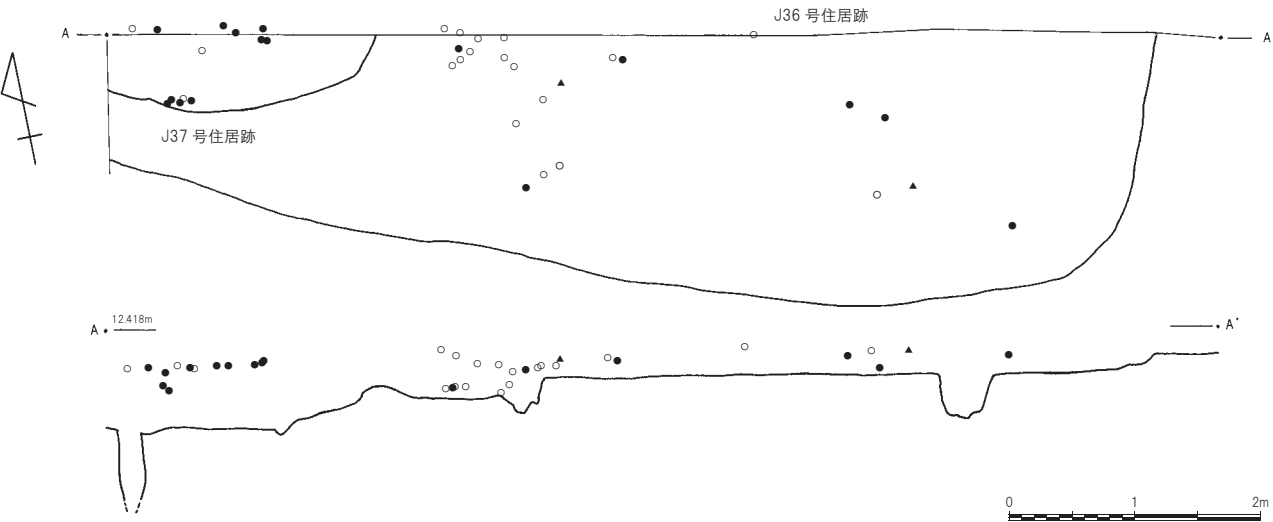
第 12 表 川崎遺跡第 57 地点 J37 号住居跡ピット一覧表
(単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	円形	26 × 23	12 × 11	64.2
2	円形	19 × 18	12 × 9	51.7
3	円形	21 × 18	13 × 9	9.7

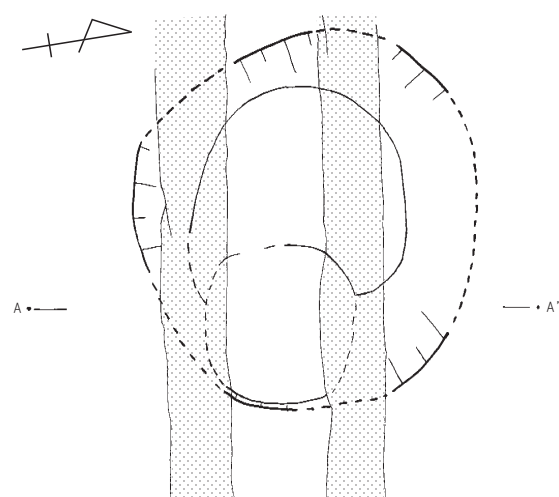
第 13 表 川崎遺跡第 57 地点集石土坑出土礫観察表 (単位 cm・g)

平面形態	確認面径	底径	深さ	総点数	総重量	平均重量	破損数	完形数	焼成数	未焼成数	タール・煤付着数	タール・煤未付着数
円形	150 × 137	64 × 60	15.8	163	5,466.80	33.53	155 (95.0%)	8 (5.0%)	48 (29.45%)	115 (70.55%)	29 (17.8%)	134 (82.2%)

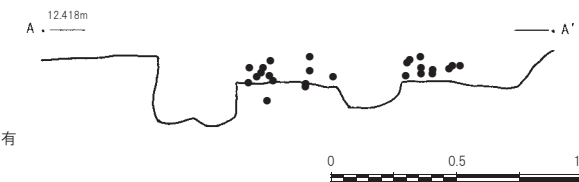
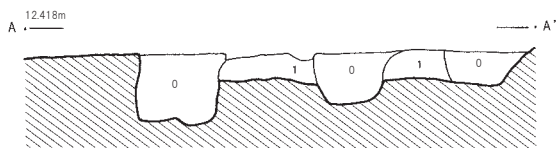
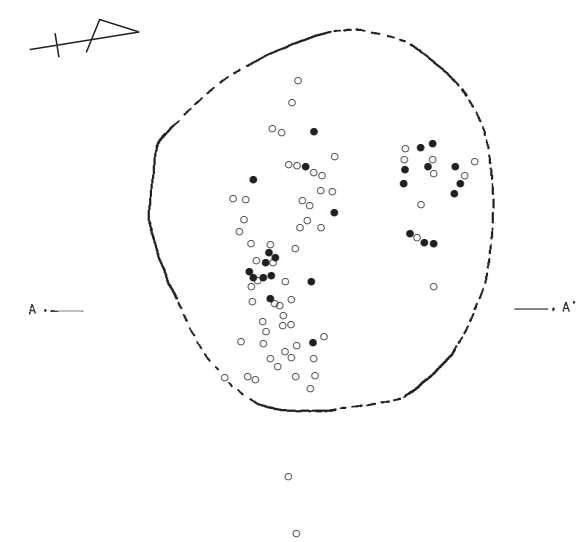
J36・37 号住居跡出土状況



集石土坑



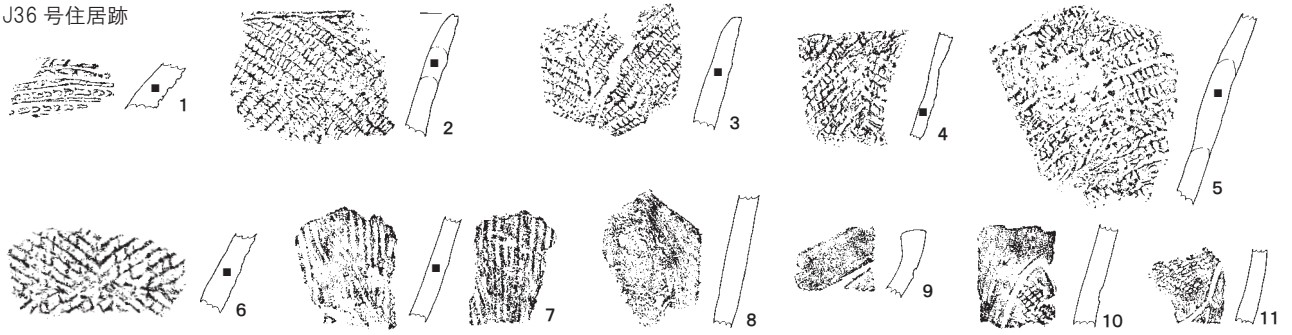
遺物出土状況



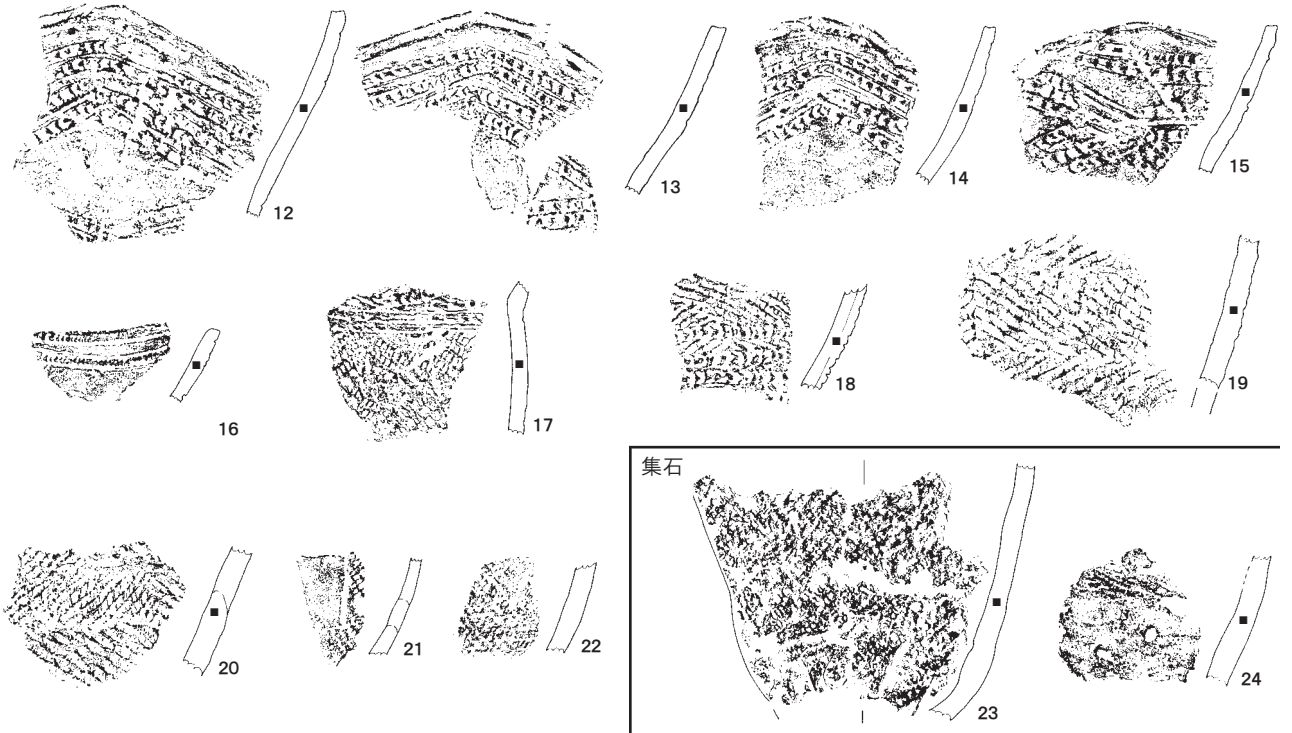
0. 畝跡
1. 茶褐色土 締り有

第 12 図 川崎遺跡第 57 地点 J36・37 号住居跡遺物出土状況 (1/60)、集石土坑 (1/30)

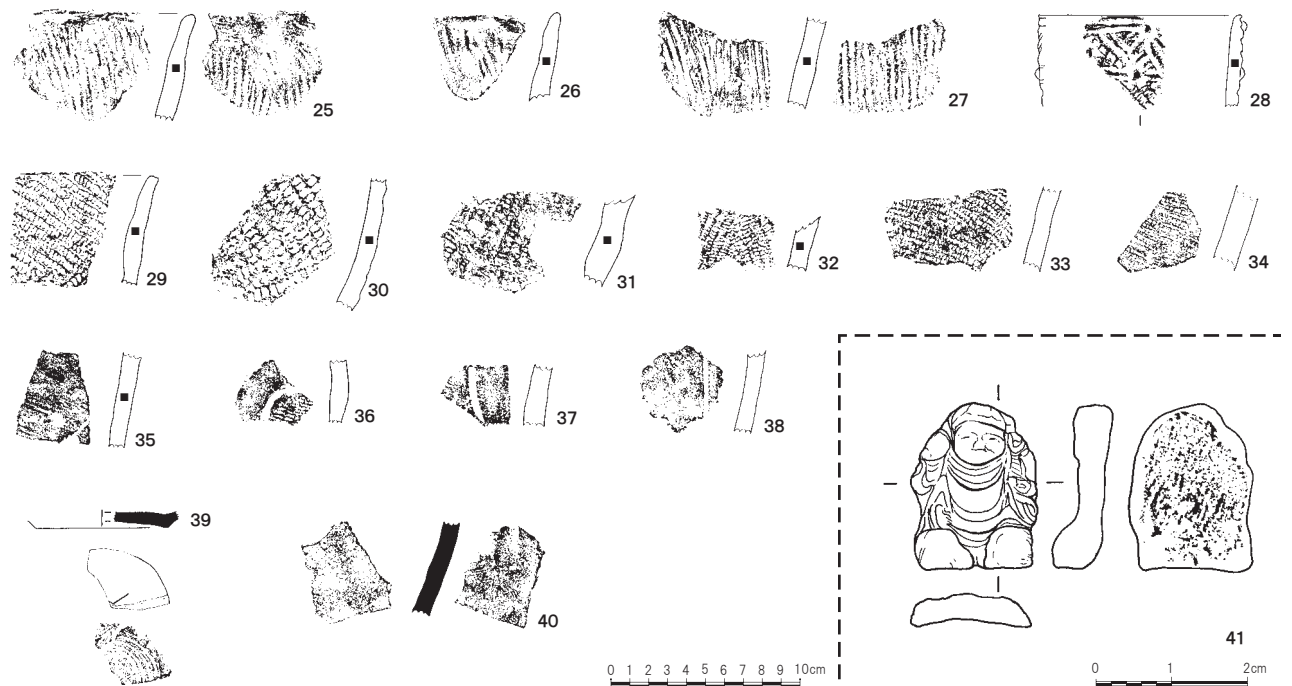
J36号住居跡



J37号住居跡



遺構外



第13図 川崎遺跡第57地点出土遺物 (1/4・1/1)

③集石土坑

調査区中央部やや西寄りで検出した。後世の畝跡に破壊されており、畝と畝の間に僅かに残存していた。確認できた遺構の規模は東西 150 cm×南北 (136) cmを測る。

④出土遺物

遺構外からも縄文時代前期～中期の土器片が多く出土している。詳細については第 13 図 25～41 及び第 14 表に掲載した。その出土量から本地点周辺の縄文時代集落の広がりが見えてくる。

第 14 表 川崎遺跡第 57 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	技法・文様・備考	時期・型式
第 13 図 -1	J36 号住居跡	縄文式土器	胴部上位の文様帯、半裁竹管文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -2		縄文式土器	口縁部片、単節の羽状縄文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -3		縄文式土器	口縁部片、単節の羽状縄文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -4		縄文式土器	胴部片、単節の羽状縄文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -5		縄文式土器	胴部片、2 段 RL に 2 段 LR を反対に巻き付けた附加状、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -6		縄文式土器	胴部片、無節の羽状縄文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -7		縄文式土器	胴部片、内外面貝殻状痕文、胎土に繊維を含む	縄文早期末
第 13 図 -8		縄文式土器	胴部片、胎土に雲母を含む	縄文中期か
第 13 図 -9		縄文式土器	口縁部片、胎土に雲母を含む	縄文中期末
第 13 図 -10		縄文式土器	胴部片、2 段 LR を充填した尖る逆「U」字型の区画文	縄文中期末
第 13 図 -11		縄文式土器	胴部片、細めの沈線に 2 段 LR を充填した区画文	縄文中期末
第 13 図 -12	J37 号住居跡	縄文式土器	13～16 は同一個体と考えられる、大 2・小 2 の波状の口縁と推定、2 本一組の半裁竹管文で菱形、三角の文様を構成か、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -13				
第 13 図 -14		縄文式土器	波状の口縁部片、半裁竹管文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -15				
第 13 図 -16		縄文式土器	胴部片、くびれ部、上位は半裁竹管文・下位は単節の羽状縄文、胎土に繊維を含む、13～16 と同一個体の可能性もある	黒浜式
第 13 図 -17		縄文式土器	胴部片、無節の羽状縄文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -18		縄文式土器	胴部片、無節の羽状縄文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -19		縄文式土器	胴部片、無節の羽状縄文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -20		縄文式土器	胴部片、2 段 LR の縦位の縄文に沈線で区画し磨消縄文で無紋帯を構成	縄文中期末
第 13 図 -21		縄文式土器	胴部片、単節縄文、摩耗著しい	縄文中期
第 13 図 -22		縄文式土器	胴部片、無節の附加条、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -23	集石	縄文式土器	胴部片、無節縄文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -24		縄文式土器	口縁部片、内外面貝殻条痕文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -25	遺構外	縄文式土器	口縁部片、内外面貝殻条痕文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -26		縄文式土器	口縁部片、内外面貝殻条痕文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -27		縄文式土器	胴部片、内外面貝殻条痕文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -28		縄文式土器	小型土器の口縁部片、口縁部に沈線による鋸歯状文とボタン状貼付文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -29		縄文式土器	口縁部片、2 段の RL、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -30		縄文式土器	胴部片、単節の羽状縄文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -31		縄文式土器	胴部片、無節の羽状縄文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -32		縄文式土器	胴部片、無節の羽状縄文、胎土に繊維を含む	黒浜式
第 13 図 -33		縄文式土器	胴部片、細かい 2 段の LR	縄文前期後葉か
第 13 図 -34		縄文式土器	胴部片、細かい 2 段の LR	縄文前期後半か
第 13 図 -35		縄文式土器	胴部片、無紋部、胎土に繊維を含むか	縄文前期
第 13 図 -36		縄文式土器	胴部片、細かい単節縄文に太めの区画沈線と無紋帯で文様構成	縄文中期末
第 13 図 -37		縄文式土器	胴部片、太めの沈線	縄文中期末
第 13 図 -38		縄文式土器	胴部片、幅広な磨消縄文	縄文中期末
第 13 図 -39		須恵器坏	底部片、轆轤右回転、底部糸切り離し、胎土に海綿骨針、南比企窯産	9 世紀
第 13 図 -40		須恵器甕	胴部片、内面当具痕をナデ調整、東金子窯産か	9 世紀
第 13 図 -41		泥面子	大黒天、型作り、裏面指頭痕、江戸在地産	幕末～明治



川崎遺跡第 57 地点 J36 号住居跡完掘



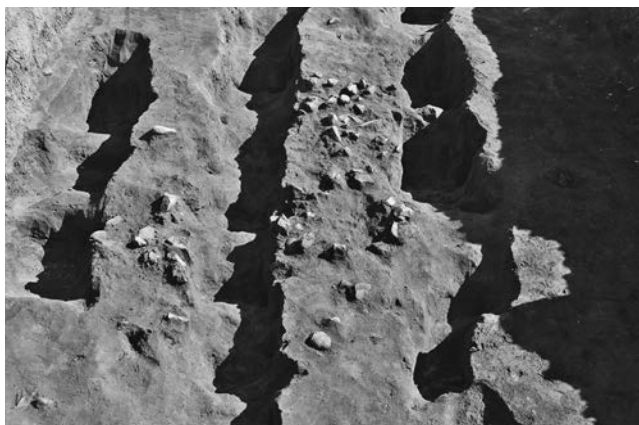
川崎遺跡第 57 地点 J36 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 57 地点 J37 号住居跡完掘



川崎遺跡第 57 地点集石土坑

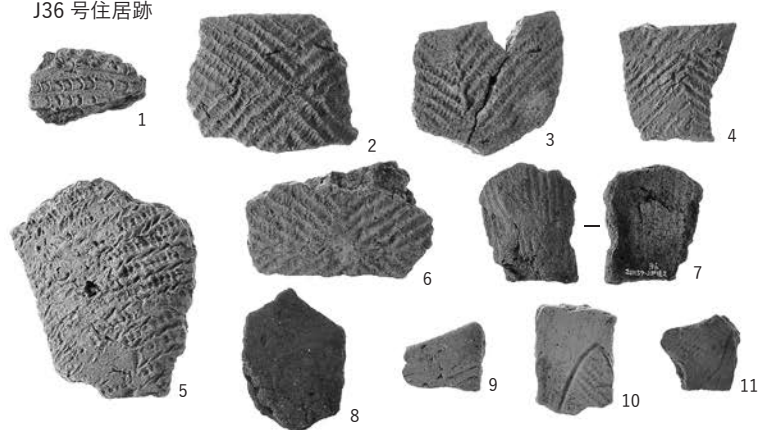


川崎遺跡第 57 地点集石土坑遺物出土状況

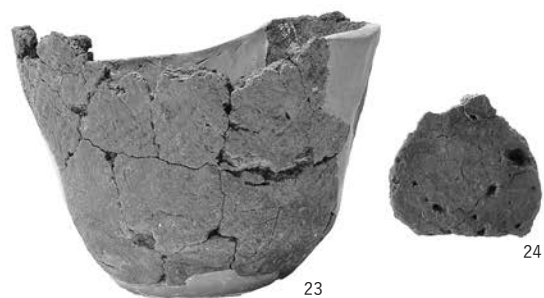


川崎遺跡第 57 地点調査風景

J36 号住居跡

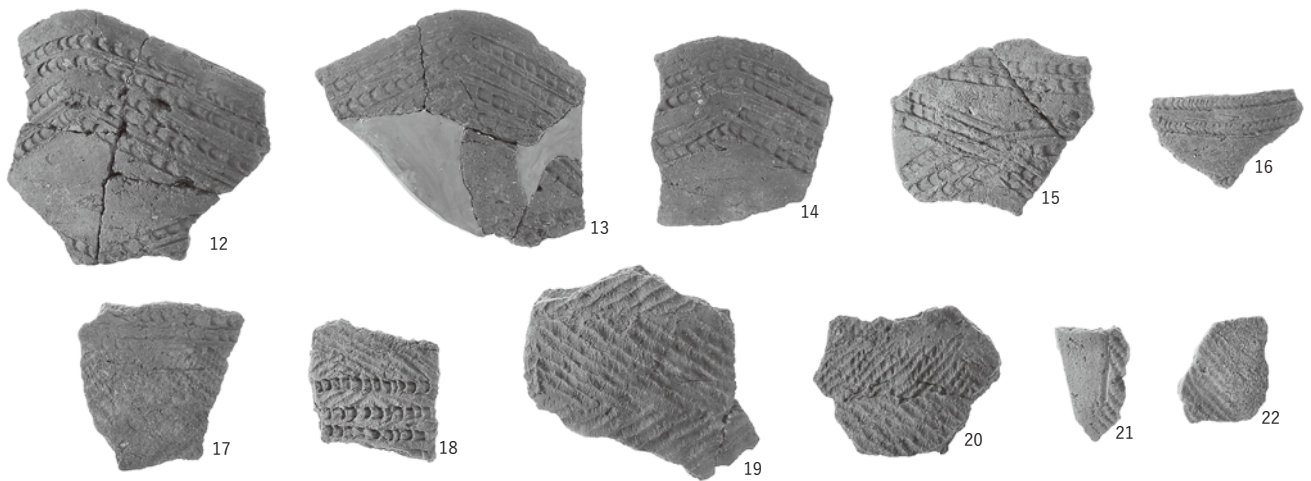


集石

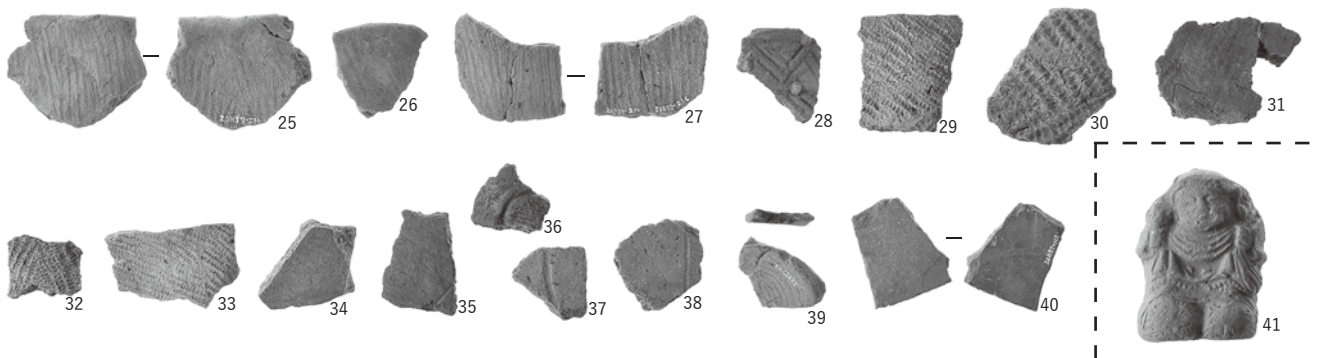


川崎遺跡第 57 地点出土遺物①

J37 号住居跡



遺構外



川崎遺跡第 57 地点出土遺物②